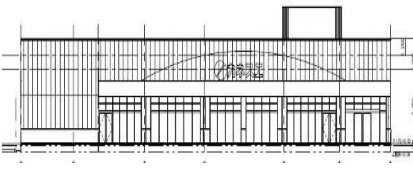
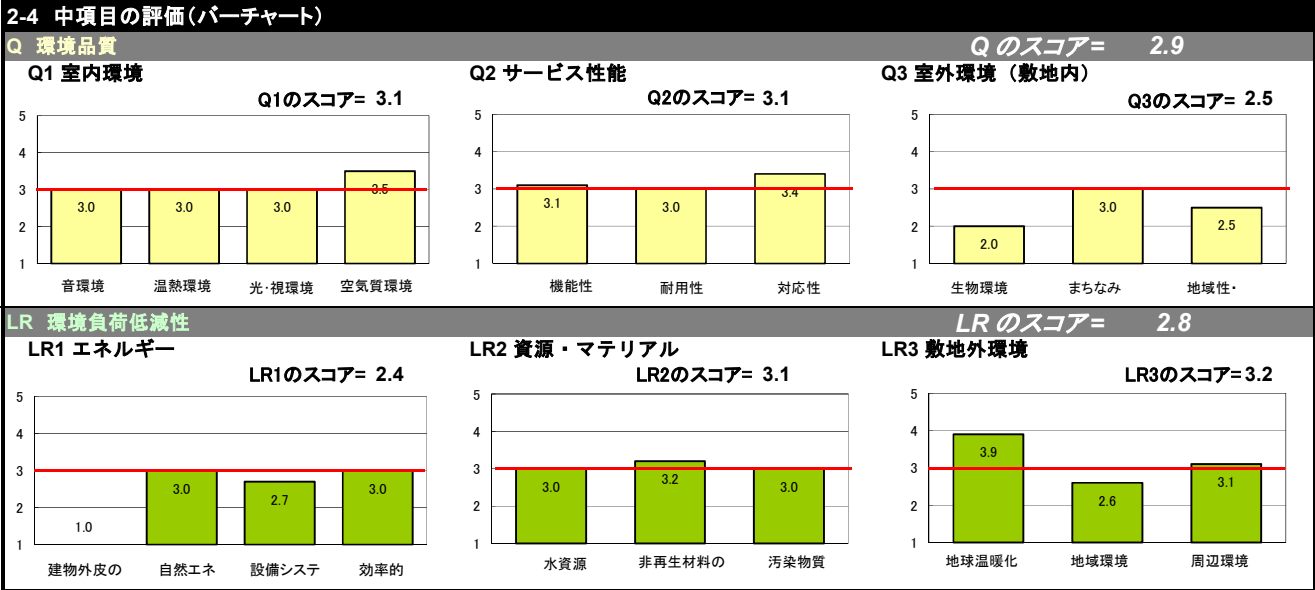
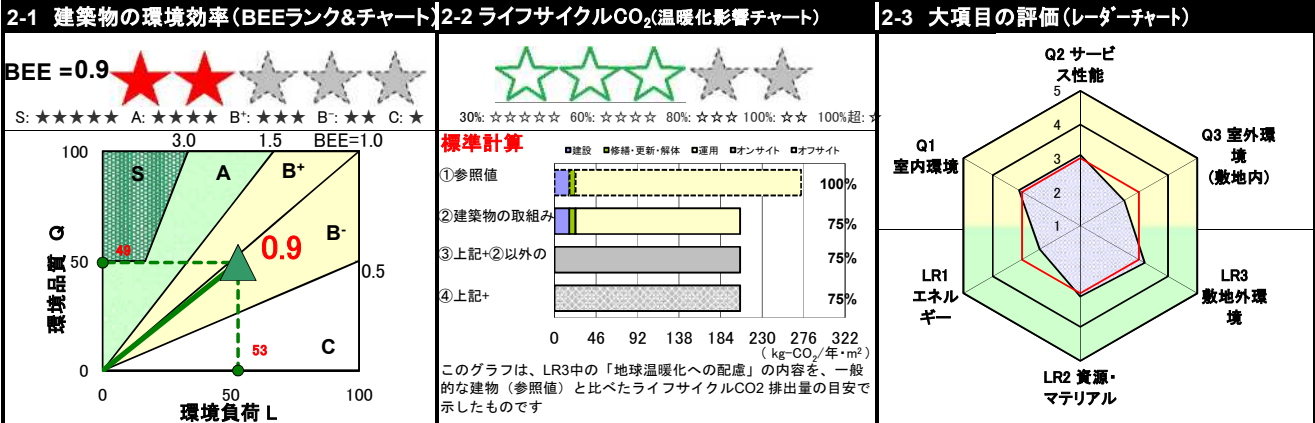


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)カネスエ浜松中郡店新築工事	階数	地上1F		
建設地	静岡県浜松市中央区中郡町万斛西	構造	S造		
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	50 人		
地域区分	6地域	年間使用時間	360 時間/年(想定値)		
建物用途	物販店	評価の段階	基本設計段階評価		
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年9月10日		
敷地面積	6,116 m ²	作成者	山下 強		
建築面積	2,733 m ²	確認日	2024年9月10日		
延床面積	2,751 m ²	確認者	山下 強		



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
外皮に十分な断熱性能を施して熱損失を抑制すると共に、高効率機器や節水型機器を採用し、敷地内温熱環境の向上や資源の保護に努めています。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
F★★★★をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。	給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。	緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮しています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱・一次エネルギー消費量ともに、省エネ基準を満たしています。	躯体+軽鉄+仕上材のデニールを採用しています。	LED照明を採用して設備システムの高効率化を図っています。

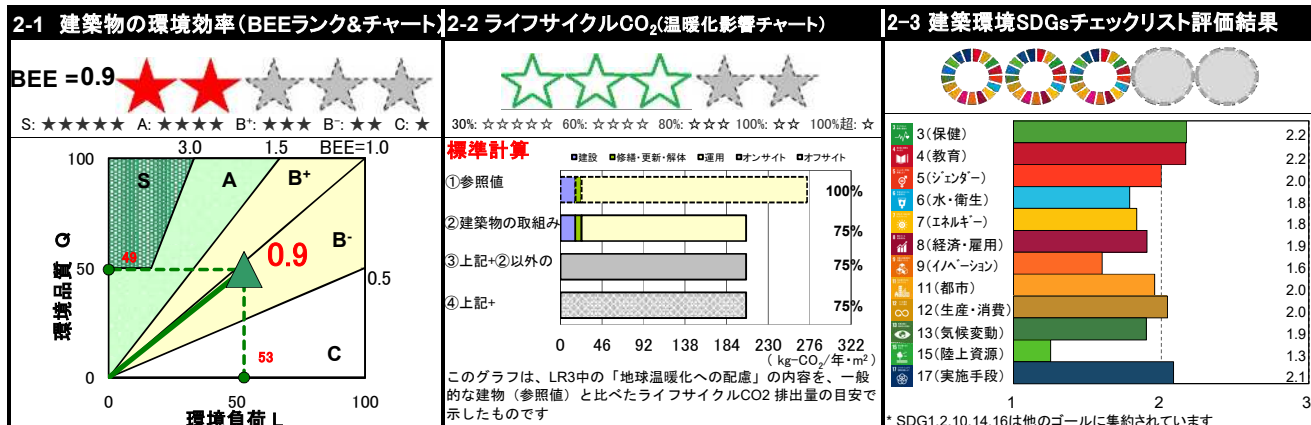
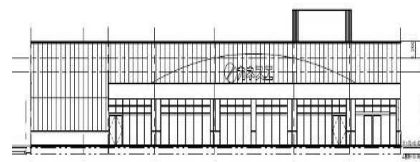
■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

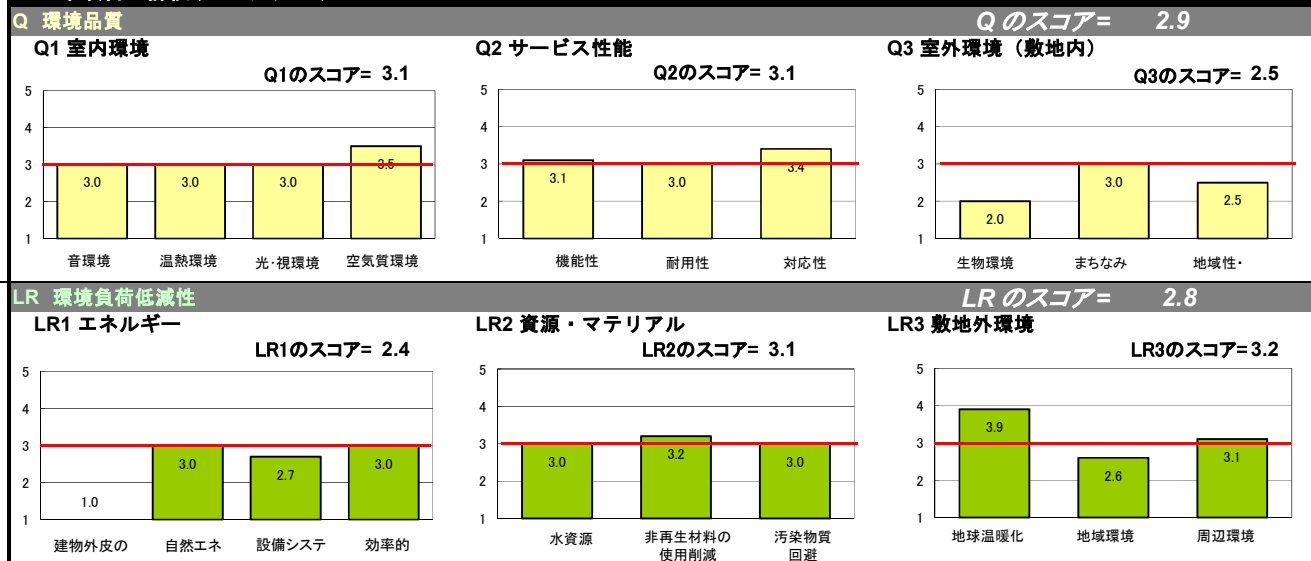
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)カネスエ浜松中郡店新築工事	階数	地上1F
建設地	静岡県浜松市中央区中郡町万斛西	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	360 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年5月 予定	評価の実施日	2024年9月10日
敷地面積	6,116 m ²	作成者	山下 強
建築面積	2,733 m ²	確認日	2024年9月10日
延床面積	2,751 m ²	確認者	山下 強



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
外皮に十分な断熱性能を施して熱損失を抑制すると共に、高効率機器や節水型機器を採用し、敷地内温熱環境の向上や資源の保護に努めています。		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F★★★★をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。	給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。	緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮しています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱・一次エネルギー消費量ともに、省エネ基準を満たしています。	躯体+軽鉄+仕上材のデニールを採用しています。	LED照明を採用して設備システムの高効率化を図っています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要													
建物名称	(仮称)カネスエ浜松中郡店新築工事				BEE	0.9	BEEランク	B-	★★				
2. 重点項目への取組み度													
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価										
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.8	/5	    							がんばろう			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8	/5	    							がんばろう			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4	/5	    							ふつう			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.2	/5	    							がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい	ふつう	がんばろう							
				4 点以上	3 点以上	3 点未満							
3. 重点項目についての環境配慮概要													
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。					内訳対応項目								
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)					得点	2.8							
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④主要内装仕上材の補修必要間隔 ビニル床シート18年ビニルクロス貼20年 ④空調給排水配管の更新必要間隔 B以上を使用し、Eは不使用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑地指数12%を確保している。 ⑥空地率57.2%を確保している。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫LGS工法の採用 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭換算スコアが3.9 ⑮隣棟間隔指標RWが1.47	Q-1 2 2.1 2.2 ①		外皮性能										
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②		屋光利用設備										
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ③		昼光制御										
	2.2.2 ④		躯体材料の耐用年数										
	2.2.3 ④		外壁仕上材の補修必要間隔										
	2.2.4 ④		主要内装仕上材の更新必要間隔										
	2.2.5 ④		空調・給排水配管の更新必要間隔										
	2.2.6 ④		主要設備機器の更新必要間隔										
	Q-3 1 ⑤		生物環境の保全と創出										
	3 3.2 ⑥		敷地内温熱環境の向上										
	LR-1 1 ⑦		建物外皮の熱負荷抑制										
	2 ⑧		自然エネルギー利用										
	3 ⑨		設備システムの高効率化										
	4 4.1 ⑩		モニタリング										
	4.2 ⑪		運用管理体制										
	LR-2 1 ⑪		節水										
	1.2 1.2.1 ⑪		雨水利用システム導入の有無										
	1.2.2 ⑪		雑排水等利用システム導入の有無										
	2 2.1 ⑫		材料使用量の削減										
	2.2 ⑫		既存建築躯体等の継続使用										
	2.3 ⑫		躯体材料におけるリサイクル材の使用										
	2.4 ⑫		躯体材料以外におけるリサイクル材の使用										
	2.5 ⑫		持続可能な森林から産出された木材										
	2.6 ⑫		部材の再利用可能性向上への取組み										
	3 3.1 ⑬		有害物質を含まない材料の使用										
	3.2 3.2.1 ⑬		消火剤										
	3.2.2 ⑬		断熱材										
	3.2.3 ⑬		冷媒										
	LR-3 1 ⑭		地球温暖化への配慮										
	2 2.2 ⑮		温熱環境悪化の改善										
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)					得点	2.8							
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰非常用発電設備を設置している。	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯		耐震性										
	2.1.2 ⑯		免震・制振性能										
	2.4 2.4.1 ⑰		空調・換気設備										
	2.4.2 ⑰		給排水・衛生設備										
	2.4.3 ⑰		電気設備										
	2.4.4 ⑰		機械・配管支持方法										
	2.4.5 ⑰		通信・情報設備										
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)					得点	3.4							
 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高5.5mを確保している。 ⑲壁長さ比率0.104 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑防犯性に配慮している。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱		ユニバーサルデザイン計画										
	3 3.1 3.1.1 ⑲		階高のゆとり										
	3.1.2 ⑲		空間の形状・自由さ										
	Q-3 3 3.1 ㉑		地域性への配慮、快適性の向上										
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)					得点	2.2							
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑地指数12%を確保している。 ⑥敷地の周りに緑地を設け景観に配慮している。 ⑥空地率57.2%を確保している。 ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) ⑮隣棟間隔指標RWが1.47	Q-3 1 ⑤		生物環境の保全と創出										
	2 ⑥		まちなみ・景観への配慮										
	3 3.2 ⑥		敷地内温熱環境の向上										
	LR-2 2 2.5 ⑫		持続可能な森林から産出された木材										
	LR-3 2 2.2 ⑮		温熱環境悪化の改善										